

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">平成24年 6月 日</p> <p>愛知県知事 殿</p> <p style="text-align: center;">提出者</p> <p style="text-align: center;">住 所 愛知県蒲郡市浜町74番地</p> <p style="text-align: center;">氏 名 鈴中工業株式会社</p> <p style="text-align: center;">代表取締役 鈴木康仁</p> <p style="text-align: center;">電話番号 0533-68-6186</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	鈴中工業株式会社 蒲郡本店
事業場の所在地	愛知県蒲郡市浜町74番地
計画期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	06：総合工事業
事業の規模	元請完成工事高：460,800万円
従業員数	86人
産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>建設工事:がれき類 再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化</p> <p>木くず 再生処理業者に委託して、チップとして再資源化</p> <p>廃プラスチック類 再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化</p> <p>紙くず 再生処理業者に委託して再生紙として再資源化</p> <p>金属くず 再生処理業者に委託して鋼材として再資源化</p> <p>混合物 最終処分業者に委託して、埋立処分</p> <p>ガラス陶磁器くず 最終処分業者に委託して、埋立処分</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
統括責任者			
環境委員会			
工事部			
廃棄物処理責任者		作業所長	
		担当職員	
		協力業者	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、金属くず、木くず、がれき類はそれぞれに分別し保管している。		
計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		t
	(これまでに実施した取組)		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量		t
	(これまでに実施した取組)		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
現状	【前年度(年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t
	(これまでに実施した取組)		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「 」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成23年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	がれき類 コンクリート塊	がれき類 アスファルト塊	木くず	廃プラスチック類	紙くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	混合物	石綿含有がれき類	繊維くず
	排出量	1,377.3 t	13,201.6 t	138.3 t	35.1 t	1.1 t	35.3 t	3.3 t	106.4 t	15.9 t	0.8 t
	<p>（これまでに実施した取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計、施工の段階で検討を行い、余分なはつり工事を行わないようにして発生量の減少に努める。 ・不要な梱包材の簡素化の実現 										
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	がれき類 コンクリート塊	がれき類 アスファルト塊	木くず	廃プラスチック類	紙くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	混合物	石綿含有がれき類	繊維くず
	排出量	1,200 t	11,000 t	120 t	30 t	1 t	30 t	3 t	90 t	13 t	0 t
	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設混合廃棄物は現場の排出時及び委託処理時に細かく選別し再利用の工夫をする。 										

別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（平成23年度）実績】											
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類 コンクリート塊	がれき類 アスファルト塊	木くず	廃プラス チック類	紙くず	金属くず	ガラスくず、コンクリート くず及び陶磁器くず	混合物	石綿含有 がれき類	繊維くず
	全処理委託量	1,377.3 t	13,201.6 t	138.3 t	35.1 t	1.1 t	35.3	3.3 t	106.4 t	15.9 t	0.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	88.3 t	5.1 t	0.6 t	0 t	2.3 t	96.4 t	15.9 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1,377.3 t	13,201.6 t	50 t	30 t	0.5 t	35.3 t	1 t	10 t	0 t	0.8 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。										
【目標】											
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類 コンクリート塊	がれき類 アスファルト塊	木くず	廃プラス チック類	紙くず	金属くず	ガラスくず、コンクリート くず及び陶磁器くず	混合物	石綿含有 がれき類	繊維くず
	全処理委託量	1,200 t	11,000 t	120 t	30 t	1 t	30 t	3 t	90 t	13 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	70 t	5 t	0.5 t	0 t	2 t	80 t	13 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1,200 t	11,000 t	50 t	25 t	0.5 t	30 t	1 t	10 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
（今後実施する予定の取組） ・施工方法のより多くの工夫により資源の再利用を多くして、最終処分量の軽減に努める。											